



水仙

建設情報誌

# C-net 通信

Construction

Vol.604

さが

『C-net通信』で 🔍 検索

2023年2月15日  
(毎週水曜日発行)

<http://www.nsci.co.jp>

発行所：(株) NSC 佐賀市日の出1丁目 16-19

TEL 0952・97・9643 FAX 0952・97・9647

環境負荷低減の工法など解説

## 技術研修会を開催

### ミラクルソル協会

ミラクルソル協会（原裕理事長）は9日、唐津市高齢者ふれあい会館りふれで第30回技術研修会を開催した。建設会社や建設コンサルタント会社、官公庁の技術者ら134人が参加。「環境と防災と維持管理技術」をテーマにした講演が行われ、環境負荷低減に貢献する土木工法やICT技術の活用などについて学んだ。

研修会は佐賀県ジオファイバー協会、佐賀県ニューレスプ協会、SSLアンカー協会が共催。2部構成で行われた。

第1部では、原理事長が「環境と防災とミラクルソルで目指すグリーン社会への挑戦」のテーマで講演。地球温暖化による気候変動で自然災害が頻発・激甚化している現状を説明し、二酸化炭素の排出量削減などにより平均気温を下げる必要性を指摘した。

環境負荷の低減対策としてミラクルソルを用いた工法を紹介し、早期の緑化や斜面の安定化を実現する「FWG・ウッドチップ工法」、高い保水性で路面の温度上昇を抑える「FWG透水性舗装工法」などを説明。環境対策と経済成長の両立を図るグリーン社会の形成に有効な工法だと強調した。

続いて日特建設㈱の山梨太郎知財・戦略部ICT上級主任が「法面工事におけるICT技術の活用」について講演。ドローンによる写真測量や3次元モデルなどの活用効果、吹付作業を機械化した「スロープセイバー工法」を紹介し、法面工事の省力化や安全性の向上を実現できると説明した。

第2部では、サンスイ・ナビコ㈱の和田亮営業開発部



講演する原裕理事長



講演を聞く参加者

廃ガラスを再資源化  
水と土と緑の自然環境を創出する  
ミラクルソル工法

最大約17℃の路面温度低減効果  
FWG・透水性舗装工法

間伐材を有効利用してCO2削減  
ラフト&パイル工法

水環境工法  
環境土木工法  
環境緑化工法  
自然環境工法  
材料開発

放射性物質・重金属を吸着する  
人工ゼオライト化ミラクルソル

株式会社 日本建設技術  
— NIHON KENSETSU GIJUTSU Co., Ltd. —  
〒847-1201  
佐賀県唐津市北波多徳須直1417番地1  
TEL: 0955-64-2626 FAX: 0955-64-4255

代表取締役 原裕 (工学博士)  
http://www.nkg-net.co.jp  
info@nkg-net.co.jp

支店・営業所  
関東・福岡・沖縄・佐賀・武雄・伊万里・有田

建設業・建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業  
地質調査業・IT関連事業・建設資材販売・テナント事業

主任と堀江靖九州営業所長が講演し、グラウンドアンカー健全度調査の実施例、耐久性や維持管理性に優れた「SSL・Fixrグラウンドアンカー工法」を解説した。

この日の研修会では、ミラクルソル協会水産養殖専門部会の金丸彦一郎部長が山梨氏、和田・堀江の両氏とそれぞれの工法についてパネルディスカッションしたほか、砂防フロンティア整備推進機構の今井一之理事が「防災・減災、国土強靱化5カ年対策とこれからの砂防」と題して特別講演を行った。【2月14日HP掲載】